

# 「復興」の起爆剤

## 1. 初めに

「東日本大震災」から1年半経った今、僕は被災地がどのように「復興」しているのかをほとんど、知りません。ニュースで報道されていることは、「復興」のほんの少しであり、被災地で行っている様々な「復興」につながる行為、いわゆる「復興」の起爆剤となるものはもっとあると思います。そこで僕はそれらの中で、主にスポーツでの「復興」をここでは取り上げ、それが本当に「復興」の起爆剤になっているかを書いていきたいと思います。

## 2. マラソンの実施（松島マラソンの場合）

これは、宮城県の松島で2年連続行われます（今年は十月予定）。また、今年は去年出来なかったコースでも、走れるようになったそうです。



前回大会の様子（がんばろう東北！松島マラソン 東日本放送）

ここでわかるのは、2年連続でマラソンを行うということは、それだけ復旧が安定し、また去年出来なかったコースで出来るようになったのは、またこの1年の間で復旧できた土地があるということです。

また、この他のどの大会でもマラソンは1000人以上の人がそこに来るので経済が回り、それが2年連続で続いているので、きちんと被災地の「復興」の起爆剤になっていると思います。

### 3. サーフィンでの「復興」

現在、被災地の復興のために全国各地で様々なサーフィンの大会が実施されています。

それはサーフィンが海でするスポーツであり、復興が必要不可欠だからです。また、サーファー達が「海で生きる男」として、復興が使命として認識しているということもあると思います。また、サーファーは、この他様々な方法で、被災地を助けています。

例えば、日本だけでは募金に限界があると考え、世界から募金をしたり、海外のビッグイベントで今の日本の現状、現実を写真、記事などで知ってもらったりなどしています。僕はここで、そのような人々が「復興」のシンボルとなり、「復興」や経済を促進させるような起爆剤になってくれているなと思いました。



サーフィンフェスティバル in 大洗  
(茨城サーフィンユニオン)

### 4. まとめ

上記のとおり、復興の起爆剤となる「スポーツ」は確実にあり、しかも（ここで書いたものはほんの一部で）沢山あります。

そのような人々にこれからもっと「復興」を頑張ってもらって、スポーツ選手ならではのパワフルさで「復興」を引っ張ってもらって欲しいです。

### 5. 参考サイト

[www.khb-tv.co.jp/marathon](http://www.khb-tv.co.jp/marathon)

[www.isurf.jp/event/2012/genki-ibaraki](http://www.isurf.jp/event/2012/genki-ibaraki)

[www.surfing-style.com](http://www.surfing-style.com)

### ——復興のためには、何が必要か。

僕はこれを、「海外に知ってもらうこと」だと思います（もうやっていることですがね）。復興途中の被災地の現状をくわしく知ってもらえば、海外からもっとボランティアなどの救いの手が差し伸べられると思います。もう一つは「根性」です（根本的な問題ですけど）。復興はとても時間がかかり、「根性」がないと中途半端な「復興」になってしまうからです。意外とこういうものは大事なのではないのでしょうか？